



四重奏

平成 28 年 1 月 12 日発行
編集 中高一貫教育事務局

～ 新年あけましておめでとうございます ～

◇ 中学 2 年生対象出張授業の感想 (美浜中・三方中・上中中にて実施)

英語

- 英語では砂漠にどのアイテムを持って行くか、その理由を英語で話した。わからない単語もあって難しかった。
- どのアイテムをあげるか迷ったり人が考えたアイテムの解説がおもしろかった。
- 日本語をあまり使わず授業が進んでいった。説明がほとんど英語で常にリスニングが鍛えられる感じがして面白かった。
- 作文を書くところでは、書き方を教えてくださり、優しく接して下さった。たくさんの表現の仕方を学ぶことができた。
- 英語の先生はとても分かりやすく、英語が苦手な私でも、楽しみながら学ぶことができた。高校に行ったらもっともっと難しくなると思うが、がんばりたい。
- 英語は楽しく受けられたのでよかった。動物の英語での呼び方が少しは分かったので良かった。



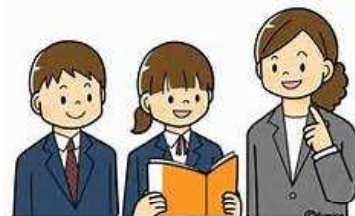
数学

- 数学は、SASAテストでも出た難しい問題だったが、身近な物事を例にしてくださったのでとても分かりやすかった。
- 実際のJR小浜線のダイヤを使って電車をダイヤグラムに表した。いつもの授業ではあまりしない内容をするのでよかった。
- グラフを使って問題を解いた。解説も丁寧でとても分かりやすかった。
- ダイヤグラムで「より」とかの使い分けでひっかかってしまった。問題文を詳しく読むこと、日本語を理解することが大切だということが分かった。ありがとうございました。
- 数学は難しい問題を教えてもらったのでSASAのテストで分からなかった部分分かった。
- 数学ではわからない所を丁寧に教えてくださった。連携クラスも英・数なので、とても良い機会になったのでよかった。



高校の授業

- 出張授業を通して高校はどのように授業をしているか分かった。進むのが速かったし、自分で考える力が必要だと思った。
- 資料をたくさん使ってとても分かりやすい授業だったし、自分で考え、発表するというのもできたのでよかった。実際の高校の授業はまた違った雰囲気だろうが、教え方は同じだと思うので、このような授業になるんだと感じた。とても楽しい授業だった。また受けてみたい。
- 高校の先生は授業が堅苦しい感じなのかと思っていたが、気軽に話して下さり、とても集中して授業を受けられることが分かった。高校に行けるように一生懸命勉強してがんばっていきたい。
- 高校に入る前に高校の先生の授業を受けられてとてもよかった。いつもより緊張感があって高校のすごみが伝わった気がする。これから、徐々に慣れていきたい。
- 私は少し数学、英語ともに苦手な、不安になりながら授業を受けていた。でも、高校の先生方は、ゆっくりなペースでわかりやすく教えてくださった。高校の雰囲気が出張授業を通して味わえた。
- とても楽しく、わかりやすかった。高校の先生だから堅苦しいのかと思ったが、わかりやすい例えや公式、ちょっとしたミニゲームなどで楽しみながら学べた。



美方高校生の活躍

◆ 進路

1 2 倍の競争率を見事突破！ 福山市立大学教育学部合格
美方高校3年（連携第6期生：三方中学校出身）

《合格までの取組み・体験》

私の夢は保育士になることです。小学生のときから憧れていた職業ではありませんが、気持ちが固まったのは中学生の時です。中学生になって連携クラスに入るかどうかを決める時、改めて自分のやりたい仕事を考え進路を想像してみました。すると保育士になりたい、四年制大学で長く学びたい、美方高校で頑張りたい、そのために連携クラスで高校の授業に慣れておきたいなど、やりたいことがたくさん出てきました。連携クラスに入ってみると、高校の授業の雰囲気を経験できるだけでなく少し発展的な内容も学ぶことができ、よい決断だったなど感じています。高校に入学してから、自分のやりたいことだけははっきりしていたので、行きたい大学を決めるのにもそれほど時間はかかりませんでした。そのことが入試を受ける上での準備を充実させてくれたと私は思っています。だから中学生の皆さんには今のうちに一度自分の進路を想像してほしいです。想像してみることで、夢がしっかり決まらなくても整理されることや気づくことがあるはずですよ。先のことだと思わず、今から自分の将来のために頑張ってください。



◆ 部活動

全国の舞台へ（1年連携クラスから5名が全国大会へ出場！）

○全国高校駅伝競争大会に出場
（三方中出身1名）

○東日本学校吹奏楽大会に出場
（美浜中出身2名、三方中出身1名、上中中出身1名）

『「迷う」この言葉には考えられることがたくさんある。入学したとき、サッカー部に入り楽しい部活動をするか、駅伝部に入り辛い練習を選ぶか、そうとう迷った。だが今、私は駅伝部が好きだ。入って良かったと心から思っている。人は迷うことによっていろいろな角度から周りを見ることができるようになるのだろう。これからの人生でも迷うことがたくさんあると思う。迷って自分を見失わないことを忘れずにいたい。迷った時は落ち着いて考え、未来を信じて選択し、選んだ道を進んでいきたい。

（本文は、福井県課題作文コンクール優良賞に輝きました。）

北海道にいる、と実感がわいてきたのは演奏中だ。この北海道の会場で吹いているんだ～!!と演奏中に気持ちが高ぶった。ステージは画像で何度も見ていたが、実際に立ってみると画像以上にもっともっと輝いていた。あっという間の7分間で正直演奏中のことはあまり覚えていない。だが、終わった後は自然と笑顔になった。自分の中で「今までで一番の演奏ができた!」と自信を持つことができた。初出場で銀賞、とてもいい結果だと思う。全国でも美方のサウンドは通じるのだ。でもこれで満足してしまったらこまでだ。来年はもっと上を目指して全国金賞を目標にがんばる。

